

ニューファーマー紹介 八幡平市 畠山 新伍 さん

生まれ育った地域に貢献したい！との思いで令和2年に八幡平市に就農した畠山新伍さんを紹介いたします。

新伍さんは盛岡地域の高校を卒業後東京の大学に進学、その後は学生時代に学んだ英語を生かして、東京の外資系企業で働いていました。しかし、休暇を利用して帰省し、地元の友人等と釣りやスキーに行くなどしているうちに故郷の魅力を改めて実感、地域に戻ってきたいと考えるようになりました。

当初は、実家に戻る口実として「農業」を継ごうと考えていました。しかし、真剣に将来を考えるうちに「農業に取り組むことで少しでも地域に貢献したい」と思うようになりました。

また「兼業農家としてほとんど休むことなく働き、自分を育ててくれて感謝している。恩に報いるようなことをしたい」との両親への思いが決め手となり就農を決意しました。

実際に取り組んでみて「農業に関する知識が足りなく、まだ覚えることがたくさんある」、「気象条件、土壌条件などに対応し

た取り組みが難しい」など、課題は様々感じているようです。

それでも今年度は水稲 13ha、露地ピーマン 15a を作付けする他、新たにドローンによる水稲防除も開始、「地域に若手は少ないが、新しい取り組みを目の当たりにした方が、農業に興味を持ってくれればと思う。若い仲間を増やしていきたい」との思いで頑張る期待の若手農家です。

趣味は釣りだという新伍さん、農業に真剣に携わる一方、時間があれば溪流釣りに出向き、心身ともにリフレッシュしているそうです。

将来の目標を尋ねると、「水稲の面積をさらに拡大したい」、「故郷が好きで戻ってきたので、地域の皆と協力して、農地を守っていききたい」と話してくれました。

当初は手探りで始めたところもあったとありますが、就農してもうすぐ2年、これまでに得た知識や経験を生かし、地域の担い手として更に活躍することを期待しています。

八幡平農業改良普及センター 高橋 寿夫



稲刈りを間近に控えた水田を背景に



ピーマンの収穫作業の様子